

# 報 告

## 1999年度翔友会総会

平成11年2月21日(日)

於：同志社新島会館

### 次 第

司 会 今川 隆文

- |                      |       |       |  |
|----------------------|-------|-------|--|
| 一. 開会の辞              | 幹 事   | 橋本 元雄 |  |
| 二. 会長挨拶              | 翔友会会長 | 小野 哲  |  |
| 三. 部長挨拶              | 航空部部长 | 坂口 一彦 |  |
| 四. 議 事               | 議事進行  | 南村 清治 |  |
| 1. 本年度新入会員紹介         | 幹 事   | 田中 輝明 |  |
| 2. 航空部 今年度全国大会について   | 主 将   | 水谷 修平 |  |
| 1998年度活動報告           | OB 担当 | 藤村 武志 |  |
| 会計報告                 | 会 計   | 小泉有紀子 |  |
| 3. 翔友会 1998年度活動報告    | 副会長   | 政 志 郎 |  |
| 会計報告                 | 会 計   | 西山 靖郎 |  |
| 1999年度活動方針(案)        | 幹事長   | 南村 清治 |  |
| 予 算(案)               | 〃     | 〃     |  |
| 4. 新人募集の指導と援助について    | 顧 問   | 窪田 昌三 |  |
| 5. 会誌14号「翔友」編集にあたり   | 〃     | 〃     |  |
| 6. スポーツユニオン統一名簿改訂第5版 | 幹 事   | 南村 清治 |  |
| 協賛について               |       |       |  |
| 五. 閉会の辞              | 幹 事   | 牧野鐵五郎 |  |

以 上

# 翔友会会計報告書

1998 1/1～1998 12/31

収入の部		支出の部	
前期繰り越し	1,248,333	事務通信費	265,246
会費(122名)	1,230,000	全国大会援助	300,000
OB総会会費(19名)	190,000	カレンダー	142,000
利息	504	翔友発行費	480,900
		OB総会費	239,470
		スポーツユニオン	30,000
		慶弔費	10,000
合計	2,668,837		1,467,616
		次期繰越金	1,201,221

次期繰り越し金 内訳

現金	114,259
普通預金	377,892
郵便振替	709,070

会計 西山靖郎<sup>印</sup>

監査 吉川禎一<sup>印</sup>

## 翔友会財産目録

西山会計管理	定期預金(三和銀行京都支店)	2,356,159	
	郵便貯金	1,000,000	小野基金
	〃	36,190	果実
	現金	114,259	繰り越し金
	普通預金(三和銀行京都支店)	377,892	〃
	郵便貯金	709,070	〃
	合計	4,593,570	
速見幹事管理	定期預金(三和銀行中野支店)	1,383,909	
	現金	46,488	
	合計	1,430,397	
三田村幹事管理	定期預金(富士銀行茨木支店)	1,785,255	
	現金	4,082	
	合計	1,789,337	
総額		7,813,304	

〈お詫びと訂正〉

翔友13号 43ページ翔友会財産目録のうち、下から3行目

現金 8,309,522 (誤)

↓

4,082 (正)

の間違いです。お詫びして訂正します。

(平成10年12月31日現在)

# 1999年度翔友会行事予定

# 1999年度翔友会予算(案)

1999年1月1日～1999年12月31日

翔友会	航空部	スポーツユニオン
1月		30日 総会、祝勝会 (パークホテル)
2月7日 幹事会 (靱会館)		
21日 総会 (新島会館)		
3月		6日 同志社を愛 する会総会 (パークホテル)
4月 ユニオン分 担金支払い	2日～7日 オリエンテイシ ョン	4月末 第一回名簿校正 提出
5月9日 幹事会 29日 会費依頼発 送作業		13日 ゴルフ大会 (亀岡)
6月	5日～12日 南山合同自家用 合宿(木曾川)	総会 (今出川) 翔友14号発 行
7月11日 幹事会		クラブ紹介 文提出
8月	24日～29日 名工、三重合同 合宿(木曾川)	
9月19日 幹事会	11日～15日 関大合同合宿 (福井)	
10月	29日～11月2日 同立戦(福井)	末日 名簿最終校 正提出
11月(未定) ゴルフ会 28日 幹事会	26日～12月1日 京大合同合宿 (木曾川)	
12月		連絡協議会 名簿訂正縮 め切り

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前期繰り越し	1,201,221	翔友製作費	460,000
会費	1,300,000	々 発送費	80,000
総会会費	300,000	カレンダー購入費	140,000
		慶弔費	30,000
		会議費	30,000
		事務通信費	250,000
		ユニオン分担金	30,000
		総会費	350,000
		全国大会援助	0
		雑費	50,000
		新人募集援助	500,000
		予備費	881,221
合計	2,801,221		2,801,221

(平成11年2月21日現在)

## 航空部活動報告 (平成10年4月～平成11年2月)

### 平成10年

4月1日～6日	新入生勧誘期間	於：田辺校地
4月22日～27日	同志社・立命館合宿	於：木曽川滑空場
6月3日～10日	同志社・南山自家用合宿	於：木曽川滑空場
7月29日～8月3日	同志社・名工合宿	於：木曽川滑空場
8月1日	ASK23(JA2354)耐空検査	於：木曽川滑空場
9月7日～11日	同志社・関大合宿	於：福井空港
9月23日	ASK13(JA2256)耐空検査	於：福井空港
10月3日	新入生歓迎コンパ	於：新ハママラ
10月18日～28日	東海・関西学生グライダー競技会	於：福井空港
10月29日～11月4日	同立戦	於：福井空港
11月19日～25日	第1回全日本学生グライダー新人競技大会	
11月26日～12月1日	同志社・神大合宿	於：木曽川滑空場

### 平成11年

2月7日～12日	同志社・関大・外大合宿	於：木曽川滑空場
----------	-------------	----------

## 平成11年度年間合宿予定

6月5日～12日	同志社・南山自家用合宿	於：木曽川滑空場
8月24日～29日	同志社・名工・三重合宿	於：木曽川滑空場
9月11日～15日	同志社・関大合宿	於：福井空港
10月29日～11月2日	同立戦	於：福井空港
11月26日～12月1日	同志社・京大合宿	於：木曽川滑空場

## 第1回全日本学生グライダー新人競技大会結果報告

優勝	大阪大学	993.0点
2位	関東学院大学	965.1点
3位	大阪府立大学	948.6点
8位	同志社大学	898.3点

(松村謙太郎・田添順也 出場)

## 東海・関西学生グライダー競技会結果報告

### [団体]

1位	名古屋大学A	3408.8点
2位	名古屋大学B	1210.7点
3位	大阪大学A	880.0点
4位	大阪府立大学	834.1点
5位	名城大学	545.2点
6位	龍谷大学B	171.1点

### [個人]

1位	中野 誠司(名古屋大学4年)	2520.8点
2位	田中 亘(同志社大学4年)	1032.5点
3位	高松 尚子(名古屋大学3年)	1022.5点

## 同志社・立命館大学対抗グライダー競技会結果報告

### [団体の部]

優勝	立命館大学	6651点
準優勝	同志社大学	2968点

<通算成績 8勝13敗 2引き分け>

### [個人の部2部]

優勝	松村謙太郎(同志社大学2年)	307.6点
準優勝	藤村 武志(同志社大学2年)	238.7点
3位	西倉 卓久(立命館大学1年)	222.8点

### [個人の部1部]

優勝	田中 亘(同志社大学4年)	2059点
準優勝	伊原 文子(立命館大学4年)	2049点
3位	川原 義幸(立命館大学4年)	1915点

# 同志社大学航空部平成10年度会計報告

平成10年1月1日～12月31日

収 入		支 出	
前期繰越金	174	用具購入費	129
学友会預託金	878	資 料 費	101
学外施設補助金	220	維 持 費	772
学外施設援助金	60	記 念 費	31
損害保険料補助金	55	消 耗 品 費	4
交通費補助金	166	通 信 費	30
部 費	234	連 盟 費	145
ノ ル マ	300	練 習 費	46
		事 務 費	7
		特 別 支 出	195
		交 通 費	47
		情 宣 費	11
		渉 外 費	20
		東海関西競技会援助金	10
		JA2256耐検立替分	157
合 計	2,087	合 計	1,705

単位：千円/千円未満切り捨て

※機材車を購入の際、OB 援助金から280,000円運用しました。

機材車借用料が280,000円まで集まりましたら、返済します(12/31現在83,500円)。

※OB 援助金の内、体験搭乗は8000円×5人です。

新入生援助金は、初合宿の際運用しました。

## 資 産

・現 金	382,141
・機体積立金	4,590,386
・OB 滞納総額	1,957,318
・OB 滞納返し	646,120

## 翔友会援助金

・機材車購入費	280,000
・体 験 搭 乗	40,000
・新入生援助金	40,000
・イ ベ ン ト	50,000
・次 期 繰 越	90,000
合 計	500,000

## 1998年全国大会経費明細書

収 入		支 出	
翔友会寄付	300,000	機体保険代	44,720
OB 寄付	325,000	エントリー料	84,000
		機材車・トレーラー交通費	67,869
		ガ ス 代	38,256
		足柄宿泊費	9,450
		妻沼宿泊費	73,660
		食 費	87,902
		雑 費	17,603
		クルー・選手交通費	96,780
		事故関係費	75,391
		次 期 繰 越	29,369
合 計	625,000	合 計	625,000

## 編集後記

- 今年もどうにか編集作業が終り、ホッとしている。一重に玉稿を頂いた皆様のお陰であり、厚く感謝する次第である。
- 卒業後も飛び続け、あるいは何10年振りかで、グライダーを再開したOBの活躍は、読んでいて、楽しげであり、その上、頼もしい限りである。更に多くのOBが生涯スポーツとして「昔とった杵柄」をとり直し、OB対現役の対抗戦を実現出来ないものだろうかと思いが広がる。親子ほども歳の離れた先輩後輩が、寝食を共にしながら、腕を競い合っただけ熱くなるという場面を想像するだけで楽しくなるし、そんな触れ合いの中で双方にプラスとなるものは大きいはずである。
- 前号に掲載されて、グライダー史として非常に興味深かった牧野先輩の筆になる「かつて日本の空を飛んだ国産の変り型グライダー」の続編が寄稿されて、本誌初の連載ものとなった。この上は、続・続編を是非読みたいと思う。筆者に期待すること大である。
- 丁度、岡本先輩執筆の「ソアラーへの<sup>ミエノリ</sup>道程」の文中に、「変り型」に関連する記述があり、期せずして両文併せると、立派な日本グライダー史の一部を形成していると云えよう。同時に、往時の時局柄、「変り型」を生んだ必然性と、今と同じ「グライダー」でありながら、「戦の道具」としての悲しい宿命を背負わされた機体と、それと運命を共にして再び帰らなかった多くのグライダーマンが居たことに思いを至す時、学生スポーツとして操縦棒を握った現代の私達の「幸せ」を感じざるを得ない。
- 監督の要請に応え、航空部の衰退打破に立上ったOB達のレポートがあった。翔友会員にとって、航空部は「心の故郷」であり、「心の拠り所」であろう。現役の活躍があつてこそその翔友会である。その航空部が近年、部員数が減り、その結果として競技会で立派な成績を残せずに衰退してゆくのは甚だ辛い。部員に対して口先だけでとやかく云うことは易しいが、具体的な行動を起こすことは、個人の犠牲と奉仕を伴うだけにむずかしい。それだけに「先ず行動を」と立ち上った9名に拍手を送りたい。公私共に多忙な社会人には自ずと限界がある。翔友会員全員が少しずつの「犠牲と奉仕」を持ち寄って彼等と航空部を支え続けるべきだと思う。「心の故郷」に何時でも帰れるように。

---

翔友 XIV 〈非売品〉

平成11年6月10日 発行

編 集 翔 友 会

発 行 同志社大学体育会航空部

印 刷 河北印刷株式会社

京都市南区唐橋門脇町28番地

---